

相産だより

誠実 創造 努力



インターンシップ発表会

12月12日(木)、インターンシップ発表会が行われました。10月15日～18日の4日間、2年生全員が51事業所に参加し、貴重な体験をしました。そのうち、5社に参加した16名が、1年生全員に向け、各事業所での勤務体験について、スライドを使い発表しました。



インターンシップの実施には、①進路選択能力の育成②勤労観・職業観の育成③社会人としてのマナーや言葉づかいなどの習得④社会人としてのコミュニケーション能力の育成④地域社会の一員としての認識や地域社会との関わりを学ぶ、など重要な意義があります。生徒たちは、社会で働く厳しさ、責任感、そして達成感などを認識し、新たな自覚が芽生えたと思います。生徒はみな、真剣なまなざしで聞き入っていました。

最後に教頭先生が総括して、経験談を述べました。会社に就職し、連日の深夜遅くまでの残業で、徐々に心身ともに疲弊し、数年で辞めることになった。自分は失格であると落ち込むこともあったが、教員として新たな人生を歩むことになり、また生徒と関わることで生活に張りができ、自分自身に自信を取り戻せるようになった。自分の苦い経験から生徒の皆さんには、いろんな困難にあっても、くじけず、いろんな道があることを肝に銘じ、頑張っていってほしい、と締めくくられました。高校生が進路を選択し、希望を叶える取り組みの大切さをふまえた談話でした。



この話を聴いて多くの生徒が、教頭先生を身近に感じ、安心と勇気をもらったと思います。人間はみんな失敗の繰り返しで人生を歩んでいます。他人のことは良く見えますが、成功して幸せそうに見える人でも、多くの苦難や悔しい思いを抱いている人も多いのです。喜びも悲しみも悩むことも人間に与えられた特権です。くじけそうになった時は、教頭先生の話思い出し、頑張っていきましょう。

相生市長を表敬訪問

12月18日(水)、機械科、商業科の生徒5名が指導教員とともに、相生市長を表敬訪問しました。機械科の青銅器づくり班による全国産業教育フェア出展、機械研究部のマイコンカーラリーと商業科の防災ヘルメット開発チームの全国大会出場者、またボート部、柔道部の近畿大会に出場予定の生徒も同行しました。今年の活動実績の報告や、今後の全国大会出場予定などを市長に報告をしました。

